常任委員会　行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村の特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするため、委員会等で視察を行っています。

今回は、三常任委員会が先進地の視察を行いました。

建設環境委員会

視察目的　スマイル瓢箪山（ひょうたんやま）、地域住民とともに歩む商店街について

視察先　大阪府東大阪市

視察日　平成21年10月9日（金）

東大阪市は大阪府の中心部より電車で30分程に位置し、人口約50万人、総面積約61平方キロメートルの、大阪市、堺市に次ぐ、府内第3位の人口規模である。近鉄線瓢箪山駅から南北に延びるスマイル瓢箪山は、サンロード瓢箪山、ジンジャモール瓢箪山、マイン、瓢箪山駅前東商店街の4つの商店街を統合し、平成20年に立ち上げている。主な特色としては、産・学・官が一体となって活性化に取り組み、市の提案により、平成16年より大阪商業大学の学生が商店街の活動に参画するようになり、行政からの提案、学生からの協力を得て商業振興策に取り組んでいる。

▲瓢箪山商店街を視察

地元の若者が参画することで、人材育成にも力を注いでいる。また、大学では毎年商店街の研究をしていて、「商店街がなんかやってるで～！」と住民に思っていただくことが大切であり、何かをすることによってお客さんの目を商店街に向けさせていくことに重点を置いているとのことである。

商店街の活動に情熱を燃やしている役員の姿に感動を覚えた行政視察でした。

＊10月8日に予定していた兵庫県小野市の視察は台風の影響による悪天候のため中止となりました。

市民厚生委員会

視察目的　①さんあい広場について②多世代交流館を利用した子育ての推進について

視察先　①大阪府守口市②兵庫県三田（さんだ）市

視察日　平成21年10月15日（木）～16日（金）

今回の視察は「高齢者と子ども」をテーマに、ボランティアの自主運営における行政の関わり方等を視察しました。

①守口市は高齢化が急激に進み、高齢者の引きこもり対策と異年齢交流の推進が1つになった事業です。廃園になった保育園の建物を利用し、行政は光熱費のみの補助。給食事業、配食事業、喫茶事業、世代間交流事業、手芸教室等多くの事業を運営しています。費用は市内のイベントや祭りの模擬店売上げだけで賄う全てボランティアによる自主運営でした。運営委員の皆さんの経験と技術と知恵の結集した事業は、まさに人が財産だと感じた視察でした。

▲さんあい広場を視察

②三田市の多世代交流館の子育て推進事業も、ボランティアが受付、講座の講師、館の運営まで関わっていて、登録ボランティア152人、費用は交通費の図書券5百円のみで運営しています。オープン以来5年で延べ66万人の利用者があり、当日も多くの親子が来館し、保育園と間違えるかのような事業を展開していた。市はボランティア養成講座を継続して開催しており、市民と行政との協働のあり方を考えるよい機会となった視察でした。

総務文教委員会

視察目的　①漢字計算認定学習システムについて②チャレンジサポーターについて　③全庁的改革改善2ndステージへの取り組みについて

視察先　①兵庫県西宮市②兵庫県尼崎市

視察日　平成21年10月29日（木）～30日（金）

内容を取りまとめた報告書の一部を紹介します。

①西宮市は漢字・計算ともに「級」を設け、合格すると認定書がもらえる。インターネットによる家庭学習も可能で、自分に合ったレベルから挑戦でき、基礎学習をゲーム感覚で身につけることができるようにと、子どもたちや家庭に対して「場」と「仕組み」を提供している。

▲尼崎市を視察

委員より当市への導入には、ひと工夫が必要との意見が多くありました。

②チャレンジ・サポーターにより放課後の時間等を活用し、基礎学力の向上と子どもの自主的な学習を支援している。

委員から当市でも同様な取り組みをしているが、放課後の学習支援として、新たに「ふっさっ子の広場」の事業に加えてはとの意見がありました。

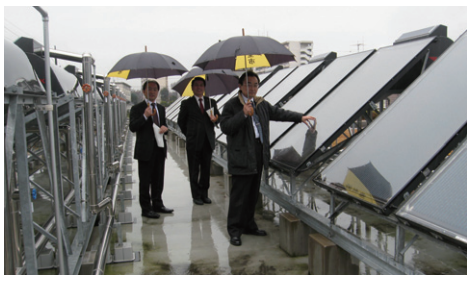
③尼崎市は民間のQC活動を学び、実践している。業務でないことと、お金をかけないというジレンマを克服するには、「褒める」ことが一番効果があったとのこと。成果としては、協働の視点が生まれたことと、職員のプレゼン能力が向上したことをあげている。委員から業務改善は庁内の活性化につながる。自主的に進んで活動することが自然になればとの意見がありました。

特別委員会活動から

CO_2削減特別委員会

◎12月11日の午後から委員会を開会。冒頭福祉センターの福生エコライトハウス事業の太陽熱温水器を視察。入浴サービスのための太陽熱温水器や省エネ照明に交換した積極的な導入について確認しました。

視察後、地球温暖化対策に伴うCO_2削減に関することについて、報告があり協議しました。


▲福祉センター屋上の太陽熱温水器

①福祉センターの削減実績について

②一般家庭エコライトハウス削減実績について

③環境家計簿・みどりのカーテン事業について

④議会とLAS－Eの関係と取り組みについて

一般住宅エコライトハウスは、断熱材・断熱サッシや高効率給湯器に交換することでCO_2削減に効果があることが確認できました。LAS－Eについては、市議会は協力団体として取り組むことで方向付けられ、その後の全員協議会で確認されました。

横田基地対策特別委員会

12月11日に委員会が開催され、次の事項を協議しました。

①東京都が実施した航空機騒音調査結果について

横田飛行場を対象とした調査結果は、固定調査と分布調査があり、固定調査は同一地点で1年を通じて連続実施し、分布調査は騒音の影響範囲の広がりを把握する調査との説明があった。

②5市1町による総合要請について

基地周辺市町基地対策連絡会で、10月23日に防衛大臣及び北関東防衛局に、10月28日に第374空輸航空団司令官に対して要請したとのこと。

③横田基地に関する事件・事故等について

基地周辺での不審物の発見等の説明があった。

④航空自衛隊航空総隊司令部の移駐に伴う建設工事について

⑤第五小学校防音機能復旧事業の工事及び予算等の経過説明について

編集後記

平成21年最後の第4回定例会が終了しました。

今定例会は議長を除く全議員が一般質問を行い、議員提出の意見書も4件全会派一致で採択。

○議会だよりの1面にもあるように市民生活・地域経済に直結する来年度予算の確保に関する意見書と、国道16号の工事進捗に関する意見書です。

○議会の活性化を目指して議員提出の条例策定を目指す、一期生議員を中心とした検討会も順調に進展しています。

○当市議会は、市民から寄せられる陳情・請願に対しては、門戸を広くして極力、審議のできる仕組みをつくってきました。議長預かり、参考配付、一般文書扱いなど、市民の皆様にとって分かりにくい方法を排除して要件さえそろえば、積極的に受け付けるよう努めています。

○さらに議会の意思を明確にするため、趣旨採択という方法は取っていません。わかりやすい議会運営となっていると自負しています。今後も皆様の声を大いに生かしていきますので、御意見をお寄せください。御期待に応えられるよう頑張ります。